

【SP-7000等端末の使用ガイド】

Proximaシリーズ・スピーカーケーブルSP-7000、5000、2000の端末は
”4φバナナ互換・銅丸棒端末”という独自形状の端末を採用致しました。

パワーアンプ、スピーカーシステムには色々な形状のターミナルが使われていますが、
市販の接続変換アダプターを使用しては弊社ケーブルの高音質を引き出せないため
”出来るだけダイレクトに・・・”という願いからこのような方式を提案致しました。

以下の使用例を参考にして、是非”ダイレクト”でご使用下さい。
6N高純度のストレスフリー銅棒で非常に柔らかく指先でも簡単に変形出来ます。
大きく伸ばした後バナナ形状に戻すのも全く問題ありません。
但し、くれぐれもケガの無いよう慎重に作業を進めてください！



一般的な(4φ)ターミナルの場合

唯、差し込むだけです。
緩めの際は指で少し抜けてやります。
ケーブルが軽いため意外と抜けにくく、
これで充分長期間使用に耐えます。
線に引っかけてしまった時に
一番安全な使い方です。



ターミナルの孔が大きい場合

そのままターミナルの孔に通して、
ネジで締め付ける



ターミナルの孔が小さい場合

少し伸ばしてターミナルの孔に通して、
ネジで締め付ける



孔の無いターミナルの場合

銅端末を1cm程伸ばし、フックのように
引っかけてネジで締め付ける